



ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2720 地区
2015～16 年度ガバナー 野田 三郎

皆さん、こんにちは。RI2720 地区 ガバナーの野田三郎です。

今年度も 5 か月目に入りまして、11 月は「ロータリー財団月間」です。

まず、ロータリー財団についてお話ししたいと思います。

ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」となっています。

また、ロータリー財団は、1917 年（98 年前）に基金として発足し、1928 年国際大会でロータリー財団と名付けられました。その後 1931 年に信託組織となり、1983 年（32 年前）に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となり、現在に至っています。

活動分野として 6 つの重点分野があり、基本的教育と識字率向上＝9 月、経済と地域社会の発展＝10 月、疾病予防と治療＝12 月、平和と紛争予防 / 紛争解決＝2 月、水と衛生＝3 月、母子の健康＝4 月が、それぞれ月間テーマとして掲げられています。ロータリー財団のプログラムとしては、教育的プログラムとしてロータリー平和フェローシップ（奨学金）等、人道的補助金プログラムとして地区補助金やグローバル補助金（人道的プログラム、VTT＝職業研修チーム、人道的＋VTT）等、特別プログラムとしてポリオプラス等があります。

ここで、2720 地区の状況を見てみますと、R 財団部門組織は、地区補助金委員会、ポリオプラス・VTT・平和フェロー委員会、資金推進委員会、財団学友・奨学金委員会、財団資金管理委員会の 5 つの委員会構成になっています。

また、活動状況については、地区補助金は今年度地区内 74 RC 中、38 RC で活用予定ですが、一方グローバル補助金はこれまでに実績がなく、今年度は地区内の 3 RC

11 月は「ロータリー財団月間」です。

お陰様で、7月6日熊本南 RC からスタートしましたガバナー公式訪問は、10月8日玉名 RC・玉名中央 RC までの三か月間で、全74クラブを訪問させて頂くことができました。皆様方のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。いつのまにか、秋風の季節へと変わっていました。これからグループの IM、地区大会、国際大会等、ご協力よろしくお願いいたします。

申請が出ておりますのでこれを実績に繋げていきたく考えています。

また、今年度に計画しています地区の将来の姿を描いていく際に、このグローバル補助金を活用した事業を取り入れることも考えていきたいと思っています。

R 財団は、ロータリー活動のエンジンとしての機能があり、そのエンジンを会員の寄付という燃料でエンジンを廻しているという解釈もできます。

そのため、ロータリー財団への寄付も引き続きよろしくお願い致します。

そして、地区内のロータリアンの皆様には、ロータリー財団に対する理解を深めて頂き、地域社会の奉仕活動のみならず、国際奉仕まで奉仕の輪を広げていけるよう感心を持って頂きますようよろしくお願い致します。

今月は「ロータリーと私の人生観について②」を2点お話ししたいと思います。

まず、1点目は「社会とは」についてです。

この「社会」というのは、お互いの“信頼”の上で成り立っていて、また時代の変動や年数を経ることでどんどん変化していくものです。

例えば、現在の社会では、ムダ使いは控えましょうというのが社会の常識となっていて、日々の生活の中では節電や節水等々に努力していますが、50～60年前の日本の社会では大量生産大量消費の時代であり、消費は美德が社会の常識になっていました。

50～60年の長期視点で捉えると社会の常識も全く逆になっていることが明確になります。

また、現在の社会では、IT 化も進みインターネットやスマートフォンも便利に活用していますが、20～30年前の社会ではそういうものは日本の社会にはありませんでした。

このように私たちの社会においては、時代の変動とともに社会環境も年々変化していくものでもあります。

また、現在の日本の社会から将来の社会を見据えたときに、その橋渡し役となるキーワードが、環境、エネルギー、医療・介護、雇用・人材、景観・街づくり、安心・安全、アジア経済の取込み等々であり、こういうキーワードを活かしながら、次の社会が創られていくものと考えます。

ロータリーでは、五大奉仕の一つに社会奉仕があります。

私たちロータリーの社会奉仕活動の中味ややり方についても、その時代のニーズに

合った社会奉仕活動に変化させていくことも、また必要なことではなかろうかと思います。

2 点目は「社会と会社の関係」で見ますと、社会ニーズ（需要）が増加するところに、会社から提供する商品・サービスがマッチすれば会社の仕事が増加していくことになります。このことが社会貢献（社会奉仕）の拡大に繋がります。

一方で、社会ニーズ（需要）が増えない所に、商品・サービスを提供しても会社の仕事を増やすことは厳しくなるものであります。そういう関係にあります。

会社の役割は、お客様の信頼を得て社会に貢献することです。

このことが職業奉仕を通して社会に貢献することであり、ロータリーで言う職業奉仕の原点であると思います。

また、会社からお客様に商品・サービスを提供して、お客様から頂くのは“信頼”であります。お客様から頂くのは、仕事でもありませんし、売上や利益でもありません。お客様との取引においては、最初は小さな仕事しか任せてくれませんが、その小さな仕事で“信頼”を積上げることで、より大きな仕事を任せて頂けるものです。

お客様から頂く“信頼”が大きくなればなるほど、大きな仕事を任せてもらえることに繋がり、その大きな仕事を任せてもらうことで、仕事を処理する能力が高まり、その結果として売上や利益が拡大していくことに繋がってきます。

私たちロータリアン一人一人が、自分なりに職業奉仕の原点を良く理解することで、職業奉仕に対する行動も変わり、出てくる結果もまた変わってくるものと思います。このことは、ロータリアンが変わることで、地域社会からのロータリーに対する見方も、また変わってくることに繋がってくるものと考えます。

今年度の地区スローガンにありますように「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」ではありませんか。

最後になりますが、ガバナー公式訪問は、ガバナー補佐の皆様、地区幹事、地区副幹事の皆様のご支援とご協力を頂き、7 月 6 日をスタートに、10 月 8 日までの約 3 か月間で実施し、無事終了することができました。

この間、地区内 74 RC の会長、幹事さんをはじめロータリアンの皆様には大変お世話になりました。

また、公式訪問においては、単独クラブ訪問で 45 RC、2 クラブ合同訪問を 10 回で 20 RC、3 クラブ合同訪問を 3 回で 9 RC を行い、地区内 74 RC への公式訪問が終了しました。合計の訪問回数は 58 回となりました。

これまでの公式訪問を通して、地区内ロータリアンの皆様から頂きました貴重なご意見等々は、今後のガバナー活動に活かして参りたいと考えております。

ありがとうございました。

ロータリー財団月間にちなんで

ロータリー財団 地区セミナー報告

ロータリー財団部門長 木村 初（熊本西南 RC）

今期も早いもので四半期を過ぎ、もう 11 月の R 財団月間を迎えました。今期に備え R 財団委員会では「ロータリー財団・地区セミナー」を開催いたしました。熊本会場は 9 月 19 日熊本国際交流会館にて、大分会場は大分ホルトホールに於いて開催いたしました。

両会場とも野田ガバナーをはじめ歴代パストガバナー、ガバナー補佐ほか多数の出席のもと、R 財団委員会より報告の後十数名のチームに分かれワークショップを開催いたしました。参加された地区役員の皆様ならびに出席されたクラブ会長をはじめ会員の皆様に心より御礼申しあげます。



ロータリー財団部門長

木村 初氏

セミナー内容は、

- ① 2014～15 年度・地区補助金の利用報告と収支決算報告。
- ② 各クラブの R 財団寄付状況。
- ③ 15～16 年野田年度の地区補助金承認状況。

今後の地区補助金申請の注意点等報告いたしました。

その後熊本会場に於いては前年度の地区補助金事例を、熊本西南 RC（地域社会への奉仕）、熊本西陵 RC（国外・ギニアへの国際奉仕）の発表につづき、野田年度事業計画は宇城 RC より発表いただきました。3 RC の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

また大分会場では大阪以南を担当する、第 3 ゾーン、岡村泰岳 A R R F C（ゾーンコーディネーター補佐）より「R 財団について」と題し財団全般について講演をいただきました。新しい A R R F C のもと新しい財団の在り方についての説明等、出席の皆様には財団へのご理解を深めていただいたものと思います。その後川崎誠治・地区補助金委員長、久峨章義・ポリオ・V T T 委員長、坂口滋一・資金推進委員長、瀧満・奨学金・財団学友委員長より委員会方針と報告を行いました。



休憩後、十数名のグループに分かれワークショップを行いました。熊本大分両会場もワークショップの時間になると参加人数の2割程度が減少しました。ワークショップが他クラブの状況や考え、奉仕活動の内容等を知る機会としては一番良い場と思いますが、欠席される方が多いのは残念なことです。

ワークショップの内容は事前に

- ①ロータリー財団の目的は？
- ②あなたのクラブはR財団の地区補助金を利用していますか？
- ③R財団へ寄付することについてあなたのクラブの反応は？

などについてアンケートを実施致しました。アンケートの趣旨はR財団の目的を知り、それを実施するにはどんなプログラムが有るのか、実施には資金が必要となり資金調達の寄付に対するクラブや会員の考えを、お知らせいただくために実施致しました。回答は熊本県30RC、大分県17RCより回答いただき、それをもとに各グループで意見交換を致しました。

問①についてはすべてのクラブよりの確な回答が有りました。

問②の地区補助金利用クラブは、熊本30RC中24RC。大分17RC中12RCが地区補助金を受給しプログラムを実施されておりました。ワークショップの意見交換でも殆どのクラブが補助金を利用し助かった、との意見を頂きましたが反面、申請時期が早い。申請が複雑である。報告書で毎年銀行通帳の新規切り替えは不効率、などの意見もありました。

問③財団への寄付に対しあなたのクラブの反応は？では寄付は任意である強制はいかがなものか。寄付額150\$はきつい。などの回答意見がありましたが、ワークショップでは意外と協力的な意見が多く、多少の本音と建てまえが有るように感じました。

以上がアンケート及びワークショップの内容ですが下記に主な回答やご意見を列記致します。ロータリークラブの目的、ロータリアンの使命、として会員皆様のご判断はいかがでしょうか？

アンケートおよびワークショップでの意見

- 寄付について
 - 1. 金額の多寡はクラブの財政事情に左右されるが、寄付行為に対しては当然のこと。
 - 2. 全会員が100\$／1人寄付している。
 - 3. 100\$／1人寄付には抵抗がない。
 - 4. 100\$／1人寄付は習慣になっている。
 - 5. 寄付への意識は高い。
 - 6. 寄付は義務であり好意的。
 - 7. 出来る範囲の寄付には好意的。
 - 8. 全員寄付が普通。
 - 9. ごく普通のことで協力的。
- 毎年1人当たり定額の寄付、特にR財団月間は寄付箱を設置し、新入会員は入会時定額の寄付をして頂く。

- 会長就任を機に1000\$寄付をしている。
- 積極的にポリオ撲滅へ寄付している。
- 積極的に寄付をする人が数多くいる一方、無関心の人、の2グループに分かれている。
- 寄付は概ね好意的に受け止めている、寄付は強制でなくあくまでも自主的寄付である。
- 寄付は理解しているが会員に認識や寄付額に相当の差がある。一人150\$の目標はハードルが高い。
- 経済的に余裕がある人は積極的に寄付している。クラブとして義務的な財団寄付は否定的、あくまでも個人の意思での寄付が原則。
- 寄付であり強制であってはならないと思う。しかし「一定額以下」「寄附金無し」ではよくないと思う。
- クラブ全体として予算が厳しい。現在より増加は難しい、円安20%増はこたえる。
- 奉仕活動の財源のため必要条件だが一部冷ややかな見方をするロータリアンもいる。RIからの強制でなくクラブの主体性を尊重してほしい。
- 寄付の目的は理解できる。1人100ドルは厳しい。クラブ財政面から1人4000円(33\$)程度が限度。
- 財団はもっと透明性が必要。収支等もロータリアンに開示してもらいたい。
- 寄付に対して
 - 1、積極的とは言えない。
 - 2、各会員で温度差がある。
- 財団の目的や意義を定期的に詳しく説明していない。「よく分からないが寄付は必要だろう」という認識の会員が多い。また地区補助金の利用可能金額が25%なのは如何なものか、寄付をせずその金額を奉仕プロジェクトに使ったが良いのでは、の意見もある。
- 地区補助金は前年度の計画でやりづらい、またクラブの半額負担は財政面で捻出が難しいその様な点で利用しづらい。





資金推進委員会

ロータリー財団への寄付をお願いします。

資金推進委員長 坂口 滋一（熊本中央）

寄付をすることは世界中の奉仕活動に参加していることです。

ロータリアン一人一人からいただいた寄付は、世界中で有効に使われています。
ロータリー財団は、他の奉仕団体と異なり、全ての寄付を奉仕活動に使っています、そして、貴重な寄付を使って、いろいろなプロジェクトを実行していくのは、皆さんロータリアンであり、皆さんの所属するロータリークラブです。是非、有意義なプロジェクトをお考えいただき、「寄付をする」だけでなく、「有効に使う」ことを考えて下さい。

ロータリー財団への寄付の種類は？

年次寄付・・・3年後の活動資金です

年次寄付は、ロータリー財団の人道的、教育的プログラム一般を支えるための主要な財源となります。3年後にシェアシステムによって、世界活動資金（WF）と地区活動資金（DDF）に50：50にシェアされ、世界中のロータリークラブとロータリアンによって、全額が有効に使われます。年次寄付が総額 1,000 ドルに達した寄付者はポールハリスフェローの称号が与えられます。

恒久基金・・・明日のプログラムを確保します

基金として積み上げ、元金には手をつけずにその運用益のみを使用します。恒久基金が増えることによって安定したプログラム資金等が供給できることになります、恒久基金への寄付額が 1,000 ドル以上の寄付者にはベネファクターの称号が与えられます。

使途指定寄付・・・目的を指定した寄付のことです

ポリオ・プラスへの寄付や承認済みのマッチング・グラントやグローバル補助金への拠出金、また災害復興のために開設された特別な口座への寄付など使途が指定された寄付のことです。

2015-16 年度寄付目標

私達の重要な奉仕プロジェクトを遂行するために本年度の寄付目標を地区重点目標として設定しました。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

年次基金寄付 現状 1 人 102.81 ドル



目標 1 人 150.00 ドル まずは 120.00 ドル達成を



ガバナー公式訪問報告

ガバナー公式訪問を終えて

地区副幹事 園田 修司（熊本南 RC）

10 月 8 日玉名 RC 様、玉名中央 RC 様への訪問を最後に、野田ガバナー年度の公式訪問全行程を無事終えることが出来ました。まずは、訪問させていただいたすべてのクラブの皆様へ御礼申し上げます。また、我々地区副幹事等の不手際にも関わらず、ご準備、サポートをしていただき本当にありがとうございます。7 月初旬から約 3 ヶ月間という短期間で、全クラブを訪問するという非常にタイトな日程でしたが、大きな問題なく終わったことにほっとしております。

我々地区副幹事ら（地区幹事を含め全 11 名）は、ガバナーの補佐をするため今回の公式訪問に帯同いたしました。他のクラブ、ましてや他県のクラブを訪問する機会は多くないなかで、私はこの公式訪問を通じて貴重な経験をする事が出来ました。会長幹事懇談会では、訪問させていただいたクラブでの活動内容、課題点等について実際の思いを交えて伺うことが出来ました。例会では、自クラブとの相違など興味深かったです。会員交流会（懇親会）では各クラブの雰囲気を感じることができ、同世代の本音の話もできました。

今回の経験を今後のロータリー活動に生かしていき、より良いものに変えて行きたいと思っています。

以下各クラブの「ガバナー公式訪問を終えて」の一部紹介

八代 RC

8 月 5 日 ガバナー野田三郎様、令夫人珠実様、ガバナー補佐吉富省也様、地区副幹事田中俊宏様、炎天下熊本第 5 グループ八代 RC には地区ガバナーは数年振り、単独でご訪問を戴きましたことに厚くお礼申し上げます敬意を表します。

例会に先立ちご指導戴く会長・幹事の懇談会では、RI のテーマ、RI 会長の方針及び object of rotary についてご説明を戴き亦クラブ運営に対しても丁寧なお話とご指導を戴きました。今後のクラブ運営に生かし繁栄の道へ繋がるよう努力いたします。

令夫人珠実様より女性の立場からロータリーに対するお話及び女性会員に対する貴重なご助言を戴きました。

ガバナーアドレスでは、プロジェクターを使って今までにない、細かく掘り下げられ目的のあるロータリーを分類され非常に理解し易い方法でご説明を戴きました。

- ロータリーの中核的価値観
- ロータリーと私の人生観
- 会員維持と増強の対策
- クラブの支援としての奉仕活動

クラブでのベテラン会員と新しい会員との融和など解説等素晴らしいテーマを全会員で拝聴でき今後のクラブ運営に役立て参りたいと思います。

ガバナーと会員の交流ではガバナーのお考えの「object of rotary ロータリーの綱領と目的」についてご説明があり、会員からの質問は新しい綱領と目的について、ガバナーアドレスで会員がこれだけ詳しくお話を戴いたのは初めてのことで感動した内容と出席率について、会員が持っているロータリーに対する素晴らしい考え方の内容の実行のありかた等など質問があり、詰まる所ガバナーのスローガン「ロータリー活動を通じて、新たな気づきを、そして自己の成長につなげよう」に行き着くのではないかと言う思いで、ガバナーの卓越したスローガンに感動いたした次第です。



臼杵RC

9月17日（木）、野田三郎ガバナーをお迎えし、臼杵ロータリークラブと臼杵中央ロータリークラブが合同で、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。当日は筑紫隆生ガバナー補佐、出田晴彦副幹事にもお出で頂きました。

例会に先立っての会長幹事会では、野田ガバナーは地区の現状や問題点についてお尋ねになり、優しく丁寧なアドバイスを頂くことができました。

18:30に始まった例会では、RI K.R ラビンドラン会長テーマ「Be a gift to the world」＝「世界へのプレゼントになろう」について、分かり易く解説して頂き、その意義と崇高な理念に、改めて感銘を受けました。

野田ガバナーによる2720地区スローガン「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」についても深く、また具体的に説明して頂きました。

Object of Rotary の浸透を図り、奉仕活動に参加する、ビジョンを描く等のロータリー活動により、私たちは、気づきを得られ、成長できるというガバナーの信念が伝わってきました。

その後の懇親会は皆が打ち解けて親睦を深める場となり、「手に手つないで」を歌い、和やかに終えることができました。

最後になりましたが、当日は夕方まで野田三郎ガバナー令夫人珠實様にもおいで頂き、星月庵で精進料理を召し上がって戴いたり、城下町の散策や醸造業の見学等をして頂きました。大変素晴らしい一日になったことを皆様に感謝しております。ありがとうございました。



別府北 R C

7 月 22 日野田三郎ガバナー、同令夫人珠寶様、丸山浩之地区副幹事、田中俊一ガバナー補佐をお迎えし、湯布院 RC と合同でガバナー公式訪問例会を開催致しました。

10 時よりの会長・幹事懇談会は別府北 RC、湯布院 RC とそれぞれ行われ、当クラブは短い期間ではありましたが、協議会資料を作りましたのでそれにそってクラブ運営や奉仕活動計画、クラブの問題点などを説明致しました。ガバナーからは多方面に渡って適切なアドバイス・ご指導を頂きました。

公式訪問例会では、首藤 誠君、阿部 信一君の新入会員入会式を行ないました。野田ガバナーより R バッジを付けて頂き、両名とも感動・感激の思い出に残る入会式になった様です。

ガバナーアドレスでは RI 会長のテーマ「世界のプレゼントになろう」と方針、野田ガバナーのスローガン「ロータリーの活動を通して新たな気付きを、そして自己の成長へつなげよう」と方針を、熱く語って頂き、ガバナーのロータリーに対する熱い思いを感じ、ロータリアンとして、ロータリーへの関わりを伝授して頂きました。又、今後のロータリアンとして人生を送る為の指針・哲学を示して頂きました。私の年度も始まったばかりでございます。ガバナーアドレスを今後のクラブ運営に活かしていく所存でございます。

例会終了後、クラブ協議会の形式は取らず「クラブ会員交流会」を行ない、会員よりガバナーに対して活発な質問が出ました。ガバナーより家庭生活・職場生活・社会生活において奉仕の理想を適用していくアドバイスを頂き、又、ロータリアンとしてのガバナーの人生観をお話しして頂きました。

奥様からは 50 周年事業の放課後児童クラブで英語並びに各国の文化に触れる機会を作る考えを話した時に熊本の学校での取り組みをお話しして頂き、この事業で子供達が英語や異文化に興味を持ち、世界に羽ばたいてゆくグローバルな人に育ち、世界に通用する人になると良いですね、とお話しを頂きました。終始にこやかな雰囲気の中でクラブ会員との交流会が進み、ガバナーと大いに語り合えた楽しい時間でありました。

会員一同これからもロータリー活動を通して自己を成長させていきたいと思っておりますので今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



社会・国際奉仕セミナー

社会・国際奉仕セミナー報告

社会・国際奉仕部門長 佐竹 享（日田 RC）

2015年10月3日（土）に大分、熊本のほぼ中間の日田市の山里の羽田多目的交流館で昨年に続き開かれました。

セミナーに先だって、8月1日に小山直前ガバナー、部門の地区役員が集まりセミナーの準備会を開きました。

今年は、国際奉仕特にグローバル補助金について研修をすることに決定。又、昨年は時間の足りなかったグループディスカッションにも力を入れ、時間を長くとることにしました。



当日は、佐竹部門長の点鐘で始まり、小山直前ガバナーのご挨拶に引き続きグローバル補助金についての現状と説明が、プロジェクターを使ってされました。

2720地区では昨年まで利用してなかったので、現在申請中の3クラブの状況説明もなされました。

次いで、佐竹部門長兼社会奉仕委員長、三角国際奉仕委員長、大庭ブライダル推進委員長から各委員会の現状を話されました。



次いで事例発表として、大分臨海 RC の小百合ホームの児童と直川憩いの森キャンプ場でのふれあい、ともに楽しむ社会奉仕活動の発表。

次いで山鹿ロータリークラブの「日本と韓国小中学生の勉学と音楽の教育交流会 山鹿青少年音楽祭」山鹿市の八千代座にて開催され市内の小中・高校生の発表の場を作るとともに、韓国の普州南江ロータリークラブの協力で琴山初等学校生の発表、国際交流を深めた社会・国際奉仕活動の発表がされました。



14時40分からは、社会奉仕5グループ、国際奉仕4グループ、ブライダル2グループに分かれてのグループディスカッションです。

小山直前ガバナーはフリーで各グループを回って頂きアドバイスをして頂きました。

各グループはまずリーダーを決め、次に記録を決めディスカッションに入ってもらいました。リーダーにはRLIパート1修了者や若い方が積極的になって頂き進行をして頂きました。

16時15分からの質疑応答の時間でしたが、ディスカッションの終了しないグループも出るほどでした。



質疑応答では、5つほどの質問に小山直前ガバナーに回答いただきました。

小山直前ガバナーの講評では、ロータリー財団への寄付額が地区に還元されるので多くの寄付を行い、それを地区補助金として有意義に使う。

多額の補助金を使えるグローバル補助金も活用したら良い。しかし、条件がいくつかありそれをクリアしないと難しい等のと講評をいただきました。

後日、グループディスカッションの記録担当から、記録が送られてきていますが、質疑応答ではあまり出なかったことが大分話されていました。

特に補助金を利用していないクラブからは、申請の簡素化、申請金額に応じて低い額には簡単にして欲しい。手続きが面倒だから自前でやった方が早い。等の意見が出されています。又、社会奉仕活動はニーズも見つけやすいし、補助金ももらいやすいが、国際奉仕のニーズを見つけることが難しいし、補助金の申請も難しい。等の意見もありました。)

講評の後、17時に三角国際奉仕委員長の閉会の言葉、佐竹部門長の点鐘で終了いたしました。



次期ガバナー補佐研修会

次期ガバナー補佐研修会報告

研修委員 片山 勇 (大分臨海 RC)

日時 | 2015 年 10 月 2 日 (金)
場所 | レンブラントホテル大分
司会 | 次年度地区幹事 中野 裕貴



プログラム

14:30	登録開始	
15:00	開会 点鐘 ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ガバナーエレクト 前田 眞実
15:05	ガバナーエレクト挨拶&ガバナーノミニ紹介	ガバナーエレクト 前田 眞実
15:07	ガバナーノミニ挨拶	ガバナーノミニ 永田 壮一
15:10	参加者自己紹介	
15:25	本日の研修会について	次年度地区副研修委員長 作守 順子
15:30	次年度地区組織の説明と各部門の役割について	ガバナーエレクト 前田 眞実
15:50	ガバナー補佐の具体的な役割について (質疑含)	次年度地区副研修委員長 作守 順子
16:30	休憩	
16:48	研修リーダー挨拶	次年度地区研修リーダー 小山 康直
16:55	今後の地区行事の進め方について 次年度地区幹事 中野 裕貴 クラブ公式訪問について IM の日程調整	次年度地区幹事 中野 裕貴
17:15	地区委員の選出について (ガバナー補佐幹事選出を含) 各セミナーについて 地区チーム研修セミナーについて PETS に向けて 地区研修協議会に向けて	次年度地区副研修委員長 中川 貴夫
17:35	テレビ会議の導入について	次年度地区研修委員 片山 勇
17:55	全体質疑&アンケート記入 次回次年度ガバナー補佐研修会のご案内	次年度地区幹事 中野 裕貴
18:10	閉会	

閉会後記念撮影

参加者

次年度研修リーダー (PG)	小山 康直 (大分臨海)	大分第 3 グループガバナー補佐	小野 哲夫 (別府)
ガバナーエレクト	前田 眞実 (大分キャピタル)	大分第 4 グループガバナー補佐	工藤 隆 (大分城西)
ガバナーノミニ	永田 壮一 (熊本城東)	大分第 5 グループガバナー補佐	小野 健介 (臼杵中央)
熊本第 1 グループガバナー補佐	犬束 美尚 (玉名中央)	次年度地区幹事・研修委員	中野 裕貴 (大分キャピタル)
熊本第 2 グループガバナー補佐	上田 耕三 (熊本菊南)	次年度地区副幹事	仲村健継 (大分)
熊本第 3 グループガバナー補佐	松本 繁 (熊本東南)	次年度地区副幹事	森永 隆二 (大分キャピタル)
熊本第 4 グループガバナー補佐	塚本 侃 (熊本南)	次年度地区副幹事	古手川 哲 (大分キャピタル)
熊本第 5 グループガバナー補佐	川村 忠正 (八代東)	次年度地区副幹事	井上 邦弘 (大分キャピタル)
熊本第 6 グループガバナー補佐	片岡 啓一 (人吉)	次年度副研修リーダー	中川 貴夫 (人吉)
熊本第 7 グループガバナー補佐	福岡 得史 (牛深)	次年度副研修リーダー	作守 順子 (宇土)
大分第 1 グループガバナー補佐	日隈 昇三 (玖珠)	次年度研修委員	片山 勇 (大分臨海)
大分第 2 グループガバナー補佐	河村 正一 (宇佐)		

今回、次年度第1回ガバナー補佐研修会は、熊本・大分全てのグループのガバナー補佐をはじめ23名の参加で非常に内容の濃い研修会になりました。

前田ガバナーエレクトは事前の段取りを非常に大切にされ、たくさんの紙の資料、プロジェクターを使ったパワーポイントでの説明を行ってくださいました。その後各担当がそれらを分担してこれからの方針や計画について話をしていきました。



最初はかなり緊張されていた各ガバナー補佐でしたが、次第に緊張もほぐれ出席者からも積極的に質問が多く出て、他グループの補佐との連携もとりながら、地区全体で前田年度を支えていく雰囲気がスタートできたと確信しました。

研修会後の親睦交流会では更に意見交換が活発に行われました。

前田年度の船出が順調に行われましたこと、また地区研修委員として関わられます事に感謝してご報告を申し上げます。



鬼怒川水害義捐金

鬼怒川水害義捐金送金のご報告

地区幹事 堀川 貴史（熊本南 RC）

地区内の皆様方よりご協力いただきました、鬼怒川水害義捐金を、国際ロータリー第 2820 地区宛に 10 月 26 日送金いたしましたのでご報告いたします。皆様のご協力誠にありがとうございました。



	クラブ名	日付	金額		クラブ名	日付	金額
大分第一 G	中 津	10/5	¥43,310	熊本第二 G	阿 蘇	10/15	¥10,000
	日 田	10/1	¥10,000		肥後大津	10/5	¥10,000
	中津中央	10/15	¥10,000		菊 池	10/19	¥10,000
	日田中央	10/1	¥10,000		肥後小国	10/21	¥10,000
	中津平成	10/16	¥10,000		熊本菊南	10/15	¥10,000
大分第二 G	宇 佐	10/13	¥26,000	熊本第三 G	熊本 '05 福祉	10/6	¥10,000
	杵 築	10/9	¥17,000		熊本りんどう	10/13	¥10,000
	くにさき	10/7	¥10,000		熊 本	10/14	¥40,000
	宇佐八幡	10/21	¥10,000		熊本東	10/16	¥10,000
	宇佐 2001	10/21	¥10,000		熊本北	10/8	¥10,000
大分第三 G	別 府	10/15	¥33,000	熊本第四 G	熊本東南	10/13	¥40,000
	別府北	10/20	¥10,000		熊本城東	10/9	¥35,000
	別府東	10/15	¥40,000		熊本グリーン	10/16	¥10,000
	日出	10/7	¥10,000		熊本平成	10/19	¥12,000
	別府中央	10/15	¥28,000		熊本水前寺公園	10/8	¥27,000
大分第四 G	湯布院	10/14	¥10,000	熊本第五 G	熊本南	10/20	¥59,000
	大 分	10/6	¥10,000		熊本江南	10/14	¥51,000
	大分東	10/14	¥10,000		熊本西南	10/13	¥10,000
	大分臨海	10/8	¥40,000		熊本西	10/13	¥10,000
	大分南	10/14	¥10,000		熊本中央	10/13	¥10,000
大分第五 G	大分中央	10/8	¥10,000	熊本第六 G	熊本西稜	10/16	¥10,000
	大分 1985	10/15	¥10,000		八 代	10/1	¥33,105
	大分城西	10/15	¥10,000		八代北	10/14	¥10,000
	大分キャピタル	10/15	¥61,849		八代南	10/7	¥15,000
	佐 伯	10/19	¥10,000		宇 土	10/14	¥10,000
熊本第一 G	臼 杵	10/19	¥10,000	熊本第七 G	八代東	10/2	¥10,000
	津久見	9/30	¥10,000		宇 城	10/5	¥30,000
	豊後大野	10/7	¥10,000		宇土・宇城・八代北 3 クラブ合同 チャリティゴルフ	9/30	¥100,000
	臼杵中央	10/14	¥18,000		人 吉	10/7	¥10,000
	佐伯 MARINE	9/25	¥10,000		水 俣	10/7	¥10,000
熊本第一 G	山 鹿	10/9	¥10,000		芦 北	9/29	¥10,000
	玉 名	10/2	¥50,000		人吉中央	10/7	¥31,000
	荒 尾	10/15	¥10,000		本 渡	10/14	¥33,000
計：¥1,366,264					牛 深	10/14	¥15,000
					西天草	10/14	¥21,000
					天草中央	10/15	¥27,000
					天草パールライン	10/14	¥10,000



ロータリー文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献 (3)

「留学生援助の意義」

増田房二 (吹田 R.C.) / 1978 / 14p

「D.259『座談会 米山奨学会に望む』に対応して」

増田房二 / 米山記念奨学会 / 1983 / 5p

「米山奨学事業の精神的原点」

増田房二 / 1983 / 34p

「落穂集 (改訂版)」

斎藤堅治 (青森 R.C.) / 1979 / 186p

「決議 23-34 はロータリーのキイ・ポイントである 増補改訂版」

末積正 / 関西ロータリー研究会 / 1987 / 125p

「“He Profits Most Who Serves Best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) について思う」

鳴海淳郎 / 1998 / 11p

「ハーバート・J・テラーの『我が自叙伝』を読んで」

鳴海淳郎 / 1999 / 8p

「卓話 最近のロータリーに思う 附国際ロータリーに物申す」

油木恒久 / 2014 / 15p

「ロータリー 100 年その歩んだ道」

油木恒久 / 2006 / 31p

「スリランカ 10 年 1998-2009 - 学校から始めた生活習慣病の予防」

小林 博 / 2009 / 70p

ロータリー文庫 [上記申込先: ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 / 開館: 午前 10 時～午後 5 時 (土日祝祭日休館)
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

お知らせ

今月は告知ありません。

入退会者のお知らせ

※平成 27 年 10 月 21 日現在

入会者 新会員のご紹介をいたします。



熊本東 RC

古崎 正倫

職業：古崎 正倫
2015.7.7 入会
推薦者 室原良治



熊本中央 RC

堀野 裕一郎

職業：茶類製造販売
2015.9.4 入会
推薦者 坂口滋一



熊本中央 RC

渡邊 一史

職業：生花販売
2015.10.2 入会
推薦者 坂口滋一



八代東 RC

原田 一哉

職業：鳶・土木工事業
2015.9.10 入会
推薦者 川村忠生
坂田義考



本渡 RC

横島 龍一

職業：ホテル
2015.9.1 入会
推薦者 堀田英史
長井 薫



本渡 RC

松下 隆治

職業：仏壇仏具小売
2015.10.13 入会
推薦者 向徹
中村公亮



天草中央 RC

一口 勝也

職業：商業銀行
2015.9.29 入会
推薦者 谷垣内作弘



別府北 RC

首藤 誠

職業：土木建設
2015.7.22 入会
推薦者 岡田豊和



別府北 RC

阿部 信一

職業：自動車整備
2015.7.22 入会
推薦者 萩尾憲司



日出 RC

宮崎 仁史

職業：ホテル業
2015.10.13 入会
推薦者



臼杵 RC

首藤 利光

職業：司法書士
2015.10.15 入会
推薦者 三重野元良

退会者

クラブ名	氏名	職業分類	クラブ名	氏名	職業分類
荒尾	林田 憲次	ガラス加工	杵築	藤波 志郎	福祉事業
熊本南	馬場 啓	商事弁護士	宇佐 2001	桐田 実千代	ギャラリー
熊本江南	守尾 正行	ビジネスホテル	日出	上村 昌宏	ホテル業
人吉	宮山 惇	時計小売	大分南	鈴木 祥男	生命保険
水俣	尾崎 公一	合板製造	大分中央	田中 卓似	不動産賃貸
中津	細川 宗俊	歯科医			

寄付金のご協力感謝いたします。

ポール・ハリス・フェロー



緒方 肇

別府 RC

Donation

2015年9月 例会出席報告

◆内女性会員数
7月1日/153名 9月末156名
入会:5名 退会:2名 増減:3名